ID
氏名

生年月日

年齢　　性別
科名　　病棟

S-1+CDDP療法
5週毎

疾患名　　胃癌

T　N　M　Stage

主治医　　**指導医**

(身長　　cm・体重　　kg) 体表面積　　㎡

スケジュール　　HBs抗原（ ＋ － ）　HBc抗体（ ＋ － ）　HCV抗体（ ＋ － ）

《注射》
シスプラチン　60mg/㎡　　Day8 ↓　　Day35

《内服》
エスワンタイホウ（テガフール・ギメラシル・オテラシル）　Day1(夕) ↓ ····· Day22(朝) ↓　《14日間休薬》 ←→

シスプラチン

- 1日尿量が3000ml以上になるように輸液を行う。
- 遮光にて投与。
- 腎機能不良の場合は禁忌。
- Day8～11は尿測と体重測定、Day12～14は体重測定のみを行う。合併症によってその都度対応すること。
- 適宜利尿薬を併用する。
- 7コース目以降は投与しない。(蓄積毒性)

(レジメン)Day8

抗がん薬投与１時間前にアプレピタントカプセル(125mg)1Cを内服				投与ルート
①	生食500ml	DIV	血管確保(20ml/h)	メイン
②	ソルラクト500ml 硫酸Mg補正液（1mEq/ml）　20ml	DIV	90分	側管
③	ソルデム3A　500ml	DIV	120分	側管
④	アロキシ１A 生食15ml	IV		側管
⑤	デキサート(1.65mg)　6A 生食20ml	IV		側管
⑥	シスプラチン（　　）mg 生食350ml　（生食150mlを抜く）	DIV	120分	側管
	終了後メインの生食でルート内フラッシュ			
⑦	20%マンニトール300ml ※湯煎溶解必要	DIV	30分	側管
⑧	ソルデム3A　500ml	DIV	120分	側管
⑨	ソルデム3A　500ml	DIV	120分	側管
⑩・⑪	ソルデム3A　500ml（※尿量をみて必要により追加)	DIV		側管

Day9.10
アプレピタントカプセル(80mg)　　1c　1×朝

Day9.10.11
デカドロン錠(0.5mg)　　16T　2×朝･昼

Day1(夕)～22(朝)
エスワンタイホウ（　　）mg/day　　2×朝･夕

体表面積	1日用量(ﾃｶﾞﾌｰﾙ相当量)
1.25㎡未満	80mg/day
1.25㎡～1.5㎡	100mg/day
1.5㎡以上	120mg/day